



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シフルトリン を含む農薬の 総使用回数			
りんご	キンモンホソガ アブラムシ類 ギンモンハモグリガ モモチョッキリゾウムシ シンクイムシ類	2000~3000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	4回 以内	散布	4回以内			
	カメムシ類 ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ ヨモギエダシヤク	2000倍								
なし	ハマキムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類							2回 以内	2回以内	
大粒種ぶどう	チャノキイロアザミウマ コガネムシ類	2000~3000倍							3回 以内	3回以内
もも	モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	2000倍							2回 以内	2回以内
おうとう	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	4000倍							3回 以内	3回以内
小粒核果類	アブラムシ類	3000倍							5回 以内	5回以内
かき	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カキノヘタムシガ	2000倍							3回 以内	3回以内
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ								3回 以内	3回以内
だいず	カメムシ類	1000倍						100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回 以内
えだまめ	アザミウマ類	3000倍	収穫14日前まで							
食用ぎく	アザミウマ類	3000倍		収穫7日前まで						
たばこ	タバコガ ヨトウムシ アブラムシ類	2000~3000倍	100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	2回 以内	2回以内				





効果・薬害等の注意

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別する。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - ③ 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 本剤のかんきつでの散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- 本剤は自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- **医薬用外劇物** 取扱いには十分注意する。
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 原液は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 摘果等の作業の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治療法…硫酸アトロピン製剤とメトカルバモール製剤の併用投与が有効（動物実験で報告）。

魚毒性等…水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所。カギをかける。

- PRTR法**
- 火災時は、適切な保護具を着用し、水・消火剤等で消火に努める。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
 - 移送取扱いは、ていねいに行う。

